

**JENESYS 2.0 及び北米地域との青少年交流****韓国大学生訪日研修団 (韓国外交部派遣)****訪問日程 平成 25 年 11 月 6 日 (水) ~11 月 15 日 (金)****1. プログラム概要**

JENESYS2.0 の一環として、韓国の外交部から選抜された韓国の大学生で構成された韓国大学生訪日研修団の 30 名が来日し、11 月 6 日から 11 月 15 日までの 9 泊 10 日の日程で研修を行いました (団長: 白 (ペク) ナレ韓国外交部文化交流協力課書記官)。一行は、「日本の伝統」という研修テーマの下、滞在中、滋賀県東近江市でホームステイを行ったほか、学校訪問や文化体験を通して日本の魅力を体感しました。

**2. 日程****11 月 6 日 (水)**

東京国際空港着、浅草見学、オリエンテーション

**7 日 (木)**

講義、歓迎昼食会、駐日韓国大使館訪問

**8 日 (金)**

日本科学未来館見学、渋谷・原宿地区探訪、和太鼓体験

**9 日 (土)**

滋賀県へ移動、雨森芳洲庵見学、ホームステイ対面式 (東近江市)

**10 日 (日)**

あいとうエコプラザ菜の花館、あいとう福祉モール、河辺いきものの森、東近江市五個荘重要伝統的建造物保存地区見学、ホームステイ

**11 日 (月)**

滋賀県立大学訪問、彦根城見学

**12 日 (火)**

滋賀県高島市針江・生水の郷、竹生島見学、京都へ移動

**13 日 (水)**

金閣寺、二条城、清水寺見学、東京へ移動

**14 日 (木)**

東京国立博物館見学、外務省訪問 (感想報告含む)

**15 日 (金)**

東京国際空港より出国

3. 写真



(日本語) 11月7日 講義・日本文化体験 (都内)  
(母国語) 11월 7일 강의 일본문화체험 (도내)



(日本語) 11月7日 駐日韓国大使館訪問 (都内)  
(母国語) 11월 7일 주일한국대사관방문 (도내)



(日本語) 11月8日 和太鼓体験 (都内)  
(母国語) 11월 8일 와다이코체험 (도내)



(日本語) 11月9日 雨森芳洲庵見学 (滋賀県長浜市)  
(母国語) 11월 9일 아메노모리 호슈안 견학 (시가현 나가하마시)



(日本語) 11月10日 東近江市五個荘街並み保存館  
(母国語) 11월 10일 히가시오미시고카쇼 거리보존관



(日本語) 11月10日 あいとう福祉モール  
(母国語) 11월 10일 아이토 복지 몰



(日本語) 11月10日 あいとうエコプラザ菜の花館

(母国語) 11월 10일 아이토에코플라자 나노하나관



(日本語) 11月10日 河辺いきものの森

(母国語) 11월 10일 가베 생물의 숲



(日本語) 11月11日 ホストファミリーと一緒に

(母国語) 11월 11일 호스트 가족과 함께



(日本語) 11月11日 滋賀県立大学訪問

(母国語) 11월 11일 시가현립대학 방문



(日本語) 11月11日 滋賀県立大学訪問

(母国語) 11월 11일 시가현립대학 방문



(日本語) 11月12日 針江生水の郷(滋賀県高島市)

((母国語) 11월 12일 하리에 쇼즈 마을(시가현 다카시마시)



(日本語) 11月12日 針江生水の郷 (滋賀県高島市)

(母国語) 11월 12일 하리에 쇼즈 마을(시가현 다카시마시)



(日本語) 11月14日 東京国立博物館

(母国語) 11월 14일 도쿄국립박물관

#### 4. 参加者の感想

##### ○ホームステイに関して

- ・日本の家庭生活を体験できて、よかった。
- ・ホームステイを通じて日本人の温かさと礼儀正しさを学べた。
- ・ホストファミリーが、私にいろんな体験をさせてくれたこと。
- ・ホームステイを通じて日本人の親切さを肌で感じられてよかった。
- ・言葉が通じないことはコミュニケーションの障害になるとののではと心配していたが杞憂で、一つ一つ丁寧に教えてくれたことが、逆に濃いコミュニケーションがとれた。
- ・初めは恥ずかしかったが、お風呂文化はとても気に入った。一緒にお風呂に入るということは家族として認めるということであると聞いたから。
- ・たっぷりの食事でもてなしてくれた。
- ・ホームステイ中、日本人から韓国への愛情を感じられたこと。

##### ○日本大学生との交流に関して

- ・日本の大学を訪ねるのは初めてだったので良い経験だった。
- ・学生と交流した際アドレスも交換したこと。
- ・日本の学生と日本語で交流し、新しい縁が生まれたこと。
- ・学生たちが思ったより恥ずかしがり屋で驚いた。

##### ○伝統、文化に関して

- ・茶道で一期一会の精神を肌で感じ、真摯な姿を知ることができたこと。
- ・京都・滋賀の自然がすばらしかった。
- ・目に見える有形の文化のみでなく、見えない精神的な文化や意識も学べたことがよかった。
- ・日本の伝統的建物（文化財など）を見られて、日本の伝統文化に触れられたことがよかった。
- ・日本の特色ある食べ物が印象に残った。
- ・多様な文化体験。

##### ○人間性について

- ・温かく親切な人間性に触れることができた。
- ・秩序正しく遵法意識が高い部分が気に入った。
- ・礼儀正しい国民性。
- ・多様性を尊重しながらもとても秩序正しく、協調性がある。

##### ○その他

- ・日韓文化交流基金の職員、通訳官がとてもよくしてくれたこと。
- ・日本語を専攻し、日本と関連した仕事をしたいと思っていた気持ちが、今回の研修を通して猶更強くなったこと。
- ・通訳方の印象がとてもよかった。
- ・エネルギーの再活用が盛んで、エコの考え方が韓国よりもっと進んでいること。
- ・日本についての深い知識を得られたこと。
- ・韓国で知り合った日本人の友達が京都のホテルまで会いに来てくれたことが印象的。
- ・先進国らしく街がとてもきれいだったこと。
- ・外務省の方々が想像よりずっと硬くなく親切で温かかったこと。

- ・ホテルが快適だった。

◆自国の人に伝えたいこと

- ・メディアや言論を通して見聞きしたこととは違う、本当の日本を体験できてよかったし、それを周りの人に伝えたい。
- ・帰国したら、日本についての正しい情報を伝えていきたい。
- ・進んだエコの考え方を見習いたいと思った。(水力発電や鯉の飼育など)
- ・テレビで見る内容と違って、日本人の大部分の人が竹島や慰安婦に関して、関心すらなく、熱を上げているのは一部だと伝えたい。両国の間に横たわる、敏感で触れたくない話題には、避けて通るのがよいと思う。
- ・帰国したら友人たちに、日本で作った良い思い出について、友好的な経験談として話せると思う。
- ・日本の先進国としての姿を伝えたい。
- ・福島原発のことを恐れていた友人たちに、体験談を話してあげたい。
- ・遺跡や文化財をきれいに保全していることに感心し、韓国も見習わなくてはならないと思った。
- ・日本の繊細な部分について伝えたい。
- ・今回のような「日本体験」を、ほかの人にも積極的に勧めたい。
- ・高い生活水準にも関わらず素朴な暮らしぶり(ほとんどのホストファミリーが軽自動車を所有していた)や、伝統家屋を保全しつつ現代的な環境と調和させている部分など、学ぶところがとても多い。
- ・環境問題に敏感な滋賀県の様子を見るにつけ、韓国人の環境への無関心を反省した。